



法人よつば たより

No.27

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931
発行日：2024年 3月 1日
ホームページ：http://www.kashiwa-yotsuba.jp

☆ご案内

・三月二十二日に、定期の理事会が開催(予定)されて、新年度からの新理事長が選任されます。

四月から令和六年度がスタートします。それに合わせて、理事長も交代します。昨年度に理事の多くが世代交代してまいりましたので、新理事長のもとでの体制です。

・四月十三日に、田熊立氏(発達障害者支援センター副所長)を迎えて、講演会を家族会主催で開催

大切なテーマは、「発達障害とは パートⅢ」です。会場は、流山市初石公民館ホールで、午後一時から開きます。実践的・具体的な内容です。おいでをお待ちします。予約は不要です。

☆障害者の体験や思い

・柏市在住 ASさん



私はもうすぐ還暦六十歳を迎えます。二十代の初めに精神病(統合失調症)の診断を受けました。数年前には、発達障害もあると先生から聞いて、驚いたというより、妙に納得しました。「やつぱりそうだったか」という感じです。服薬

で精神症状(私の場合は幻聴や被害妄想)は安定しているのに、周囲の人、家族やグループホームの人や作業所の人たちとの行き違い・もめ事が絶えませんでした。そのたびに住まいも代わり、仕事も止めました。そのうち、うつの薬も飲むようになりました。さんざんな人生でした。

病気になるまで約四十年、大半は病気を抱えた半生です。この間に両親は亡くなり、住んでた家も無くなりました。今は、生活保護を受けて、アパートで暮らしています。ヘルパーさんと相談支援専門員と社協の生活支援員さんに相談に乗ってもらっています。今の自分なら両親ともめることも少ないだろうと思いますが、後の祭りです。両親が亡くなった後は、兄弟とは疎遠です。

若い頃は、病気を恨みましたし、親にもあたりましたが、今は不思議と後悔も恨みも感じません。今の生活で手いっぱいだし、時々外食したり、少し酒を飲むと落ち着きます。お金を節約するため、また時間を無駄にしないために、図書館で本を借りて読んでいます。また、テレビは見ないので、ラジ

オを聞くのが楽しみです。そんな生活をしています。

☆家族の思いと願い

・野田市在住 ATさん



私の子どもは、統合失調症の診断を受けていますが、もう何年も通院していません。代わりに私が薬を頂きにクリニックに通っています。私自身も睡眠剤を飲んでます。私自身も睡眠剤を飲んでますので、先生には、子どものことを報告しながら私の話も聞いてもらっています。子どもは、服薬していると聞いていますが、本当のところは確認できていません。目の前で飲んでくれないからです。普段は暴言や苛立ったりしません。が、たまに私たちとの会話で気に入らないことがあったり、本人が何か不愉快な気持ちになると、言葉が荒くなったり、金遣いがめちやくちやになったり、顔つきが恐ろしくなったりします。その変化が極端です。これが病気なんだと思います。そんな時は、そっとして置きますし、友達に愚痴を聞いてもらいます。

主人は最初の内は子どものことに関わっていましたが、今では手に負えないと思ったのか、仕事



と趣味に専念し、子どもとは距離を取っています。ただ、子どものことを心配はしているのが分かりますが、それ以上には関わりません。主人は世の中の常識や子どもの弱点を取りあげるため、子どもからは話の分からない頑固者だと言われています。父親と和解できる時がいつ来るのでしょうか。

十年単位で見ると、子どもも少しずつ落ち着いてきたように思えます。以前のように仕事に就くことは本人も私たちも諦めました。気持ちと体調が良い時は、出かけていきます。どこに行くのか分かりませんが、楽しみを見つけたようです。普段、お金遣いが荒いことはなく、出かけるときはお金を欲しいと言ってきます。たくさんは上げられませんが、交通費と食事代ぐらいはあげています。だいぶ前に働いていた時期があり、その時にお金を貯めていたことは知っていますので、そこからも使っているのでしょうか。

今現在、小康状態ですが、将来のことは心配です。主人もあと数年で年金生活に入ります。親亡き後に備えて、頼れる先を見つけしておく必要もあり、生活費のこと

も十分ではありません。このことを子どもに話すと、「うるさい」と逃げられます。本人も心配はしているのでしょうか。ただ他の子どもは巻き込みたくありませんし、今現在もほとんど関わりを持ちませんので、それでよいと思います。

せめて、自分のことは自分で出来るように、自分の部屋の掃除や食器の片づけ、洗濯や買い物は自分でやるようにさせています。親から見て十分とは言えませんが、やってはいけません。残る課題は、お金のことと、相談相手と、具合が悪い時に自分で病院に行くことかなと思います。親としてやれることはしますが、それ以上のことは本人次第だと考えるようになりました。(注・統合失調症の特性として、病識が弱い点があります)

☆発達障害者家族会の「定例会」のご案内です!



毎月の定例会では、家族や本人も参加しての、交流会を中心にしており、それ以外にも、情報提供や日ごろの出来事からの質問を話し合っています。参加者は毎回十数名です。また当事者会は数名ですが、仕事のことや人間関係のこと

などを分かち合っています。

※定期の集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで

090-3696-1589

☆法人の事業案内

・多機能型事業所「生活介護・まいる沼南」場所は、柏市大津ヶ丘三丁目にあります。定員は十名で現在の利用者は一日七〜八名平均です。外出プログラムや、人間関係や心身の健康の学びやゲームや調理などもプログラムに入っています。午後からは、工賃の伴う作業もしています。問い合わせは、青い鳥〇四・七一九九・八一一九です。まず、見学をお願いします。

☆先人の言葉



精神科医、斎藤環氏の言葉。患者と家族がどう変わるかは、周囲の判断の正しさとはほとんど関係がない。患者と家族が、いろんな意見を自分たちについての噂として聞けることが、自主的な選択に必要な余白となる。

長新太氏の言葉。

草花を愛して、人間を愛さなくなっている自分を発見して、驚くこともある。人間はこんなことさえできるのか。そして、その可能性が紛れもなく自身にもあることに気づき、人間であることに絶望することがある。草花を愛するのは、草花そのものを愛するというより、人間ではないという、ただその一点でそれを愛しているだけなのかもしれない。

石井哲代氏の言葉。

一人が一度に背負う悲しみには限度があります。だから、仲間と一緒に引き受けて、一人の深い憂いに寄り添うもの。

柏部会の案内

日時 三月二十三日(土)

午後一時から

会場 パレット柏B会議室

流山部会の案内

日時 三月二十二日(金)

午前一〇時から

会場 初石公民館 会議室

